

【 診療科:血液腫瘍内科 】
 【 レジメン登録番号:IG-98 】

〈 E-Pd療法 〉

〈1～2コース〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)															
			1	2	...	8	9	...	15	16	...	21	22	23	...	28		
レナデックス	28mg/body	p.o.	○			○			○							○		
デキサート	6.6mg	div	○			○			○							○		
エムプリシティ	10mg/kg	div	○			○			○							○		
ポマリスト	4mg/body	p.o.	← Day1～21まで内服 →															

〈3コース以降〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)															
			1	2	...	8	9	...	15	16	...	21	22	23	...	28		
レナデックス	28mg/body	p.o.	○															
	40mg/body					○			○						○			
デキサート	6.6mg	div	○															
エムプリシティ	20mg/Kg	div	○															
ポマリスト	4mg/body	p.o.	← Day1～21まで内服 →															

【1コース期間:28日間】 【総コース数: 】

【適応癌種:多発性骨髄腫】

【時期:術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準
薬剤投与基準量			

投与プロトコール

〈1～2コース〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)	投与日
Rp.1	レナデックス 28mg/body	p.o.(分1)	day1, 8, 15, 22
Rp.2	デキサート 6.6mg	div(15分間で)	day1, 8, 15, 22
	生理食塩水 50mL		
Rp.3	ボラミン注1A	div(15分間で)	day1, 8, 15, 22
	ファモチジン注1A		
	アセリオ注 100mL		
Rp.4	生食 100mL	div(30分間で)	day1, 8, 15, 22
Rp.5	エムプリシティ10mg/kg	div(添付文書 参考に)	day1, 8, 15, 22
	注射用水 ^{※1}		
	生食 250mL		
Rp.6	ポマリスト 4mg/body	p.o.(分1)	day1～21

〈3コース以降〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)	投与日
Rp.1	レナデックス 28mg/body	p.o.(分1)	day1
	レナデックス 40mg/body		day8, 15, 22
Rp.2	デキサート 6.6mg	div(15分間で)	day1
	生理食塩水 50mL		
Rp.3	ボラミン注1A	div(15分間で)	day1
	ファモチジン注1A		
	アセリオ注 100mL		
Rp.4	生食 100mL	div(30分間で)	day1
Rp.5	エムプリシティ20mg/kg	div(添付文書 参考に)	day1
	注射用水 ^{※1}		
	生食 250mL		
Rp.6	ポマリスト 4mg/body	p.o.(分1)	day1～21

【参考文献:N Engl J Med. 2018;379(19):1811-1822. エムプリシティ点滴静注用添付文書】

【備考※1:エムプリシティの300mg製剤は注射用水13mL、400mg製剤は注射用水17mLで溶解。】

【備考2:エムプリシティは0.22ミクロン以下のインラインフィルターを通して投与する。】

【備考3:レナデックスは、エムプリシティ投与3～24時間前に内服する。】

【備考4:前投薬について】

デキサート:エムプリシティ投与の45分前までに投与を終了する。

ボラミン・ガスター:エムプリシティ投与の30分前までに投与を終了する。(ガスターは医師の判断で投与しない場合がある。)

アセリオ:エムプリシティ投与30～90分前までに投与する。(300～1000mg投与)

アセリオにボラミン・ガスター混注可

アセリオ体重にかかわらず、100mL投与可

アセリオはアセトアミノフェン錠に変更可

【実行情報:75歳超の場合、エムプリシティ投与がある日 レナデックス8mg/日、エムプリシティ投与がない日 レナデックス20mg/日】